

事業報告書

2026年(令和8年)3月31日

福山市長様

住所 福山市春日町五丁目16番3号

団体名 緑丘学区まちづくり推進委員会

代表者名 委員長 柏原 範行

2025年(令和7年)4月30日付け(福東地第3号の2)で交付決定のあった福山市地域まちづくり推進事業を、次のとおり実施しました。

事業名

緑丘学区 地域まちづくり推進事業

実施場所

緑丘交流館、緑丘小学校ほか

事業費

2,943,440円

補助金額

2,590,000円

着手年月日

2025年(令和7年)5月1日

完成年月日

2026年(令和8年)3月31日

実施事業の経過及び内容

別紙事業内容報告書のとおり

事業成果

別紙事業内容報告書のとおり

添付書類

- 1 収支決算書
- 2 事業内容報告書
- 3 その他市長が必要と認める書類(監査結果の写し)

〔様式11〕

収 支 決 算 書

〔収入の部〕

緑丘学区（町・地区）まちづくり推進委員会

（単位：円）

収 入 科 目	予 算 額	決 算 額	内 訳	
市補助金	2,590,000	2,590,000	市補助金（地域まちづくり推進事業補助金）	
団体負担金等	320,000	349,700	20,000	安心・安全事業（学区自主防災訓練） 共催団体負担金（福山市東防火協会緑丘支部）
			20,000	安心・安全事業（交通安全・防犯啓発） 共催団体負担金（緑丘学区交通防犯自治会）
			40,000	健康・福祉事業（健康講座） 共催団体負担金（緑丘学区公衆衛生推進委員会）
			10,000	健康・福祉事業（高齢者訪問） 共催団体負担金（緑丘学区の福祉を高める会）
			40,000	環境美化事業（クリーンアップ、ばら花壇） 共催団体負担金（緑丘学区公衆衛生推進委員会）
			36,600	人権・生涯学習事業 参加者負担金「こども広場」
			72,000	人権・生涯学習事業 参加者負担金「人権・平和学習（施設見学）」
			11,200	人権・生涯学習事業 参加者負担金「陶芸教室」
			22,500	人権・生涯学習事業 参加者負担金「多肉植物寄せ植え教室」
77,400	ふれあい事業 参加者負担金「ふれあいこどもフェスティバル」			
諸収入	500	2,190	2,190	預金利息
繰越金（2024年度から）	6,995	6,995	6,995	
合 計	2,917,495	2,948,885	358,885	

〔支出の部〕

（単位：円）

事業 番号	事 業 名（ 内 容 ）	予 算 額			決 算 額			内 訳
		事 業 費	市 補 助 金	団体負担金等	事 業 費	市 補 助 金	団体負担金等	
1	人権・生涯学習事業	450,000	310,000	140,000	322,650	180,350	142,300	借上料（バス代）、報償費（講師謝礼）、消耗品費（実験材料等）ほか
2	ふれあい事業	600,000	550,000	50,000	792,744	715,344	77,400	消耗品費（餅・菓等）、印刷費（チラシ）、食糧費（スタッフ弁当・飲物）ほか
3	安心・安全事業	220,000	180,000	40,000	97,619	57,619	40,000	食糧費（スタッフ弁当・飲物）、印刷費（チラシ）ほか
4	健康・福祉事業	320,000	270,000	50,000	360,255	310,255	50,000	使用料（上映）、報償費（講師謝礼）、消耗品費（工作材料・用紙等）ほか
5	環境美化事業	200,000	160,000	40,000	174,081	134,081	40,000	消耗品費（肥料・薬剤・用具等）、食糧費（飲物）ほか
6	コミュニティ育成事業	820,000	820,000	0	808,560	808,560	0	19町内会
7	納税推進啓発事業	50,000	50,000	0	20,940	20,940	0	学区民運動会プログラム及び広報紙による啓発
8	まちづくり推進委員会運営事業	257,495	250,000	7,495	366,591	362,851	3,740	備品費（プリンター・デジカメ）、消耗品費（事務消耗品等）、印刷費（会議資料等）ほか
合 計		2,917,495	2,590,000	327,495	2,943,440	2,590,000	353,440	
繰越金（2026年度へ）					5,445		5,445	

2025年度 緑丘学区 地域まちづくり推進事業 事業内容報告書

事業番号	事業名(内容)	詳細 (実施年月日、場所、参加人数など)	課題に対する成果	今後の改善点・課題	事業の振り返り をした場
1	人権・生涯学習事業	① こども広場 7月29日(火)・30日(水)、8月1日(金)・8日(金)の4日間、交流館、98人 ② 人権・平和学習(施設見学) 10月19日(日)、大久野島(竹原市)、18人 ③ 人権・生涯学習講座 11月11日(火)、交流館、14人 11月25日(火)、交流館、17人 12月2日(火)、交流館、15人	① 新たな内容を取り入れ、楽しく学ぶことで、青少年の健全育成に取り組むことができた。 ② 戦争の悲惨さを学び、命と平和の大切さを再確認する機会となった。 ③ 講座を通し、住民同士がふれあい、リフレッシュの場となった。	① 世代を問わず、一緒に取り組める内容を考えていく必要がある。 ② 引き続き、人権が尊重されるまちづくりに向けた学習機会の提供に努める。 ③ 積極的に情報収集を行い、新たな講座開催に取り組む。	役員会・定例会議
2	ふれあい事業	① ふれあいこどもフェスティバル 11月2日(日)、小学校、2,000人 ② とんど祭り 1月10日(土)、小学校、700人 ③ 東部文化フェスタ(フェスティバル実行委員会との連携) 2月1日(日)、東部市民センター	① 内容の充実、広報の見直しを図ったこともあり、来場者が増え、活気あふれたつどいの場を提供できた。 ② 定着した行事として、地域住民のふれあいの場となった。 ③ 事業の成果を提供でき、地域間の連帯感を高めることができた。	① 今後も内容の見直しを図りながら、より楽しく笑顔あふれる場とする。 ② 役員が高齢化・固定化しており、また、材料の調達にも課題があるなかで、今後の実施内容について検討していく必要がある。 ③ 引き続き、実行委員会との連携を深めていくことが大切。	役員会・定例会議 ※ふれあいこどもフェスティバルについては、ワーキンググループ会議においても振り返りを実施。
3	安心・安全事業	① 学区自主防災訓練 11月23日(日)、小学校、356人 ② 交通安全・防犯教室&広島県警察音楽隊ふれあいコンサート 6月14日(土)、小学校、135人	① 高齢者に対する支援体制も含め、訓練により災害時の行動力醸成の一助となった。 ② 交通安全・防犯意識の向上を図り、安心して暮らせるまちづくりに向け効果的な取組となった。	① 多くの住民が参加しやすく、防災への意識づくりができる場とする。 ② 安心・安全なまちづくりに向け、多くの参加が見込める企画を検討する。	役員会・定例会議

〔様式12〕

		<p>③ 防災意識の啓発 通年、小学校ほか</p> <p>④ 交通安全・防犯の啓発 ※高齢者交通安全教室 11月18日(火)、交流館、 15人</p>	<p>③ 防災訓練や啓発チラシの掲出により情報発信を行い、意識の高揚に取り組んだ。</p> <p>④ フェスティバルなどで、情報発信を行い、事故防止に向けた取組を行った。</p>	<p>③ 意識啓発に向けて講座の開催、情報チラシの発行に継続的に取り組む。</p> <p>④ 幅広い世代が参加できる講座を開催する。</p>	
4	健康・福祉事業	<p>① 健康づくり講座 5月27日(火)、交流館、8人 7月24日(木)、交流館、4組 9月30日(火)、交流館、4組 10月30日(木)、交流館、14人 12月16日(火)、交流館、3組 1月29日(木)、交流館、12人</p> <p>② 百歳体操+α(健康講座) 通年(毎月第2・第4木曜日)、 交流館、20人/回</p> <p>③ スポーツ大会 10月18日(土)、小学校、100人</p> <p>④ グラウンドゴルフ大会 12月13日(土)、小学校、55人</p> <p>⑤ 一人暮らし高齢者激励訪問 12月、300人 ※小学4年生とのコラボ作品(メモ帳)作製 表紙:児童の絵・メッセージ</p> <p>⑥ 映画会 2月14日(土)、小学校、100人</p>	<p>① 継続的な取組により、健康づくりの一助となっている。</p> <p>② 定例的に開催しており、高齢者の健康増進につながる場となった。</p> <p>③ 高齢者参加の大会として定着している。気軽に楽しみながら健康づくりができる場となった。</p> <p>④ 大会を通して、参加者間で楽しくふれあう場となった。</p> <p>⑤ 小学校児童とのコラボにより行った事業で、世代間交流を図ることができた。また、訪問先でも好評を得ている。</p> <p>⑥ 健康で生きがいのある暮らし、地域での関わり方などを学ぶ機会となった。</p>	<p>① 幅広い年代から参加できるよう、内容の充実を図るとともに、開催時期についても検討する必要がある。</p> <p>② 参加者が固定化しているため、効果的な広報への取組が必要。</p> <p>③ 参加者が固定化しており、参加者増に向けた広報方法の検討が必要。</p> <p>④ 世代交流が図れる健康づくりの場として、内容を検討する必要がある。</p> <p>⑤ 今後もよりよいものとなるよう検討を重ね、継続的に取り組む。</p> <p>⑥ 健康で楽しく暮らせる内容の講座開催なども検討する。</p>	役員会・定例会議
5	環境美化事業	<p>① クリーンアップ緑丘 6月1日(日)、学区内、230人</p> <p>② 福山市環境関連施設バス見学 8月4日(月)、福山ローズエネル</p>	<p>① 毎年度の恒例行事としており、環境美化への意識を高める機会となった。</p> <p>② ごみ問題やエコについて学び、資</p>	<p>① 参加者が昨年度より増加したが、より多くの人に参加できるよう、広報方法(各町内会内での声掛け等)を検討する必要がある。</p>	役員会、定例会議

〔様式12〕

		<p>ギーセンター、(株)エフピコ福山 リサイクル工場、32人</p> <p>③ ばら花壇の維持管理 通年、高屋3公園、延べ398人 ※ばらの剪定講習会 2月14日(土)、高屋第3公園、25人</p>	<p>源循環型社会に対する意識を高めることができた。</p> <p>③ ばらサポーターによる日々の手入れ、また、企業の地域貢献活動も受け、ばら花壇コンクールにおいて4年連続の大賞受賞となった。地域住民の憩いの場として定着している。</p>	<p>② ごみ問題や省エネ等、環境への理解を深める講座等を継続的に開催する。</p> <p>③ ボランティアが高齢化・固定化しているため、花壇の継続管理に向け、人材の発掘・育成が急務。</p>	
6	コミュニティ育成事業	① 町内会でのコミュニティづくり 通年、19町内会	① 各町内会の活性化につながる祭りや清掃活動などを行った。	① 活動実態は、町内会によってばらつきがあるため、町内会連合会や各種団体と連携を図り、活性化に向けた取組を考えていく必要がある。	役員会・定例会議
7	納税推進啓発事業	① 広報紙への納税啓発標語掲載等 通年、交流館ほか	① 各戸配付の学区民運動会プログラムや広報紙に標語を掲載し、啓発への取組を行った。	① 今までの啓発内容に加え、新たな方法も検討する必要がある。	役員会・定例会議
8	まちづくり推進委員会運営事業	① 運営に必要な会議開催・事務等 通年、交流館ほか ② 広報活動 通年、交流館ほか	① ワーキンググループ会議の活用を含め、事業実施に応じた効果的な会議の開催となった。 ② まちづくりニュース、各種チラシの各戸配付などにより、まちづくり事業の取組を周知した。	① より効率的・効果的な会議にするためには、事前準備(資料作成等)の工夫が必要。 ② まちづくり事業に関心をもて、行事への参加を促すため、きめ細かく分かりやすい情報の発信に取り組むことが必要。	役員会・定例会議

監 査 結 果

2025年度（令和7年度）緑丘学区地域まちづくり推進事業の決算について、証拠書類及び関係帳簿の監査をいたしました結果、正確かつ適正に事務処理が行われていることを確認しました。

2026年（令和8年）3月31日

緑丘学区まちづくり推進委員会

監 査 今 村 三 敏 

監 査 岸 本 等 